

ベナン共和国 バンテ郡 ボベ行政区
ボベ公立中等学校のための
各 4 教室を擁する 2 棟の建物とトイレ、および給水設備の建設に関する
作業報告書その 1

(2026 年 1 月 8 日から 2026 年 6 月 4 日)

2026 年 1 月 8 日、私たちは委託業者と給水設備についての打ち合わせを行うため、ボベに足を運びました。業者は翌週に井戸の掘削を行うと約束してくれました。



1 月 20 日、当会の会長、女性問題部門の責任者、そして私の 3 人はバンテへ向かいました。翌朝 10 時からボベで開かれる現地の住民総会に間に合うようバンテで 1 泊しました。

翌朝、現地ではすでに村の人々が集まっており、地域の代表や国王（伝統的首長）、そして村の重鎮の方々も顔を揃えていました。私たちが自己紹介と訪問の目的を説明すると、人々は非常に喜んでくれました。続いて契約書を読み上げて翻訳し、村人たちの質問にすべて回答しました。その後で投票を実施した結果、住民全員の賛成でプロジェクトの実施が決まりました。



投票後、建設予定地を視察し、住民たちに準備を進めるようお願いしました。

資材の保管場所については、既存の部屋では遠すぎたり狭すぎたりしたため、現場にトタンの簡易倉庫を建てることにしました。

翌日、建物の配置のためにボベへ戻ると、予定地の低木や草が表面だけ刈り取られた状態だったため、翌日までに根までしっかり抜いておくよう住民に依頼しました。

その間、会長と鉄筋工、型枠工の三人は資材の調達に向かいました。チークの丸太や型枠用の板は日没前に無事届きましたが、セメントと鉄筋の確保は難航しました。しかし幸運にも、コトヌーからバンテへ向けてセメント 50 トンと鉄筋数トンを輸送中の販売業者と出会うことができ、その荷を丸ごと買い取ると同時に、追加でセメント 50 トンを即座に注文しました。セメント 50 トンを雨から守るため、急いでトタン倉庫を完成させました。



丁張りを設置しました。



住民による基礎溝の掘削が始まりました。地盤が非常に硬く、かなりの力仕事となりました。



鉄筋工が鉄筋を加工しました。



レンガ職人がブロックを作っていました。



掘り終わった基礎溝の柱部分を掘り広げました。



1層目のコンクリートを流し込んで柱を配置しました。



さらに2層目のコンクリートを打設して基礎壁を築きました。



基礎壁が地表の高さに達したところで下部の鉄筋アンカーを打設しました。



窓の下辺の鉄筋アンカーを打設し、壁を高くしていきました。2棟目の工事は少しゆっくりと進みました。その間、電気技師がアース作業を行いました。



ベランダの支柱を打設し、階段も設置しました。



工事の途中、屋根板を積んだコンテナトラックを、荷降ろし前にキャッチするという大手柄がありました。本来の納品先の会社やトラック運転手と交渉を重ねた結果、そのトラックをそのままアジゴからバンテ方面へ向かわせることに成功したのです。ボベへの道は悪路で大型トラックが入れないため、バンテで小型トラックに荷を積み替えて現場へ搬入しました。



この「屋根板作戦」を進めている間も現場は手を止めることなく、上部の鉄筋アンカーを一気に打設しました。



ブロックをさらに4段積み上げました。



屋根下の鉄筋アンカーを打設して、切妻壁を築き上げました。



柱の先端を打設し、屋根下のブロックを積み終えたところで、喜びとともに作業員たちと上棟式を執り行いました。



その後、スロープ、階段、土砂侵食防止の防護壁を設置しました。



給水塔の建設も進めました。



屋根を載せるまでに校舎を1ヶ月間乾燥させる必要があり、この期間を利用して住民に教室の床に砂を詰める作業をお願いしました。

しかし、今回のボベの住民は工事への参加にかなり消極的でした。水汲みにはやってくるものの、建築の手伝いとなると腰が重いのです。そこで、「手伝ってくれた人にだけ水を渡す」というルールに変更しました。また、工事期間中、地域の権威者たちにも協力を呼びかけ説得を続けましたが、私たちの建築チームが現場を離れると、作業はピタリと止まってしまいました。そこで私たちは一旦訪問を控え、他の現場に集中することにしました。すると「このままでは来てくれなくなる」と焦ったボベの人々が、ようやく自分たちで教室の砂埋め作業を始めてくれました。

住民の作業が終わると、大工たちがやってきて屋根工事に取りかかりました。角材に防虫剤を塗り、骨組みを設置します。



桁を設置しました。



屋根板をしっかりと固定し、屋根が完成しました。



ドイツの支援者の皆様、ベナン南部にある2つのパートナー校、そしてエルフト・ギムナジウムに心から感謝申し上げます。2025年と2026年にベタボ中等学校とアジャボ中等学校で、2025年9月にはドイツのエルフト・ギムナジウムで「スポンサーシップ・ラン（チャリティラン）」が開催されました。これら3校の益金によって、1棟目の建設費の25%（自己資金分）が賄われました。

2棟目の25%については、匿名を希望される有名な女性アスリートの方からご寄付いただきました。

そして残りの75%は、いつものようにドイツ連邦経済協力開発省を通じてドイツ市民の皆様の税金から助成されています。お会いしたことのないすべての寄付者の皆様に、深く感謝申し上げます！

感謝を込めて

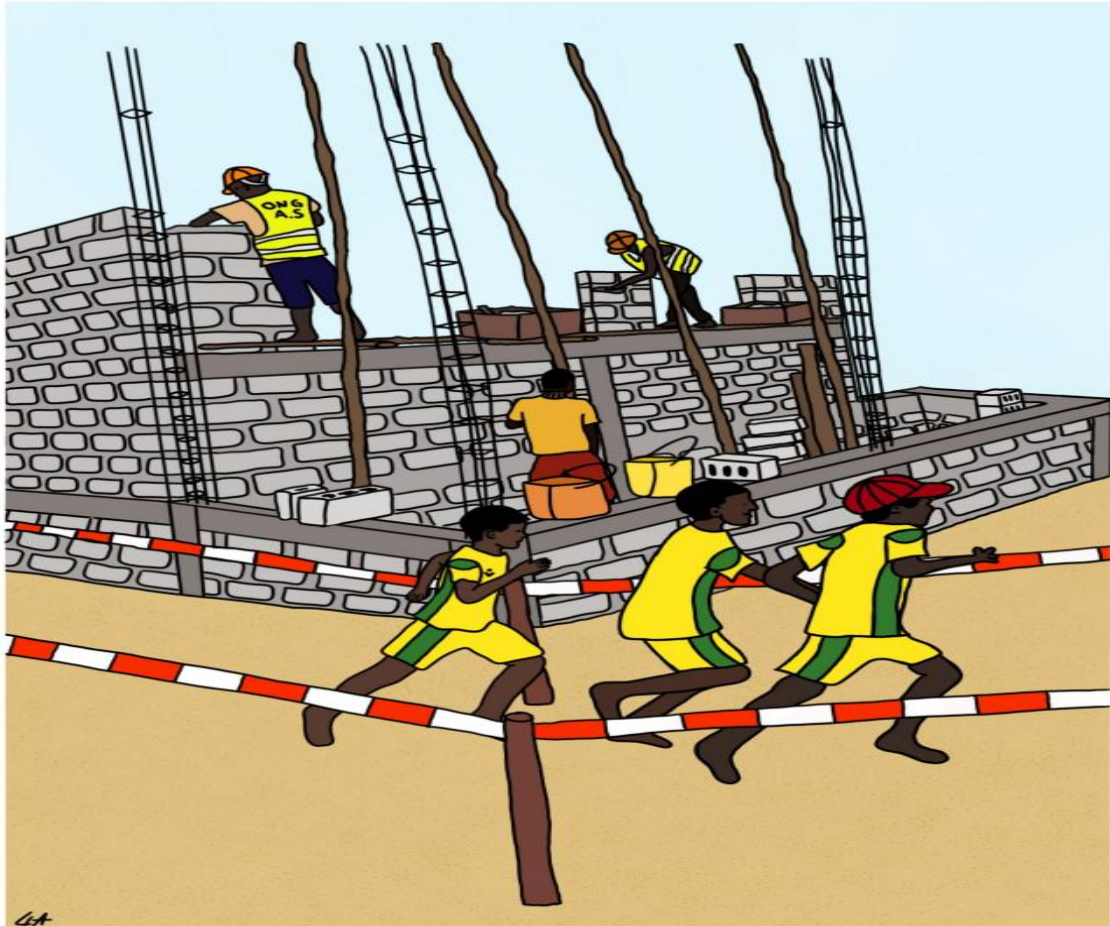
當田アストリット

ベタボ中等学校 スポンサーシップ・ラン

ベナン共和国

～アクション「私の幸せをあなたと分かち合う」～

Course aux Dons 2025



CEG Gbetaabo

2025 年 5 月 31 日午前 9 時より、アボメ・カラヴィ郡アカッサト行政区のベタボ中等学校グラウンドにて第 1 回スポンサーシップ・ランを開催します。

常設の校舎が 1 棟もないバンテの学校を支援するため、ベタボ中等学校の生徒たちが立ち上がります。これはベナンのすべての子どもたちと連帯を示すアクションで、他の子どもたちも同じように助け合うことを願うものです。

スローガン：

『一人で幸せになるより、みんなで幸せになる方が素晴らしい』

UNE ACTION
(アクション)
DE PARTAGE DE BONHEUR
(幸せの分かち合い)

Course aux dons 2026
(2026 年 チャリティラン)



PARTAGE AVEC LE CEG BOBÈ
(ボベ中学校と幸せを分かち合おう！)